

1954年 大会記録

※フリースタイルのみ

国際

◇全米選手権（4月1～4日、米国・）

◇アジア大会（5月1～3日、フィリピン・マニラ）

▼フライ級 北野祐秀（慶大OB）＝2位、▼バンタム級 飯塚實（明大）＝優勝、▼フェザー級 笠原茂（明大）＝優勝、▼ライト級 霜鳥武雄（明大）＝優勝、▼ウェルター級 兼子隆（中大）＝優勝、▼ミドル級 桂本和夫（中大）＝優勝、▼ヘビー級 福田健三（中大）＝優勝

◇世界選手権（5月22～25日、東京・東京体育館）

▼フライ級 北野祐秀（慶大OB）＝2位、▼バンタム級 米盛勝義（中大OB）＝三失、▼フェザー級 笹原正三（中大OB）＝優勝、▼ライト級 川野茂（中大OB）＝三失、▼ウェルター級 兼子隆（中大）＝3位、▼ミドル級 桂本和夫（中大）＝3位、▼ライトヘビー級 伊藤信夫（明大OB）＝三失、▼ヘビー級 関二郎（中大）＝三失

国内

◇アジア大会最終予選兼世界選手権第1次選考会（3月26～28日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 北野祐秀（慶大OB）、▼バンタム級 飯塚實（明大）、▼フェザー級 笠原茂（明大）、▼ライト級 霜鳥武雄（明大）、▼ウェルター級 兼子隆（中大）、▼ミドル級 桂本和夫（中大）、▼ライトヘビー級 池田光男（中大）、▼ヘビー級 福田健三（中大）

◇全国高校選抜大会（4月18日、新潟・新潟商高）

《学校対抗戦》①新潟・新潟明訓（2年連続2度目）、②新潟・北越商、③新潟・新潟商、神奈川・法政二

《個人戦優勝者》▼52kg級 兵藤三郎（群馬・館林）、▼54.5kg級 深井源七（新潟・

新潟明訓)、▼57kg級 勝田米蔵(新潟・新潟明訓)、▼59.5kg級 小林幸男(新潟・北越商)、▼62kg級 大倉虎夫(新潟・新潟明訓)

◇世界選手権最終選考会(5月13日、東京・青山レスリング会館)

《優勝者》▼フライ級 北野祐秀(慶大OB)、▼バンタム級 米盛勝義(中大OB)、▼フェザー級 笹原正三(中大OB)、▼ライト級 川野茂(中大OB)、▼ウェルター級 兼子 隆(中大)、▼ミドル級 桂本和夫(中大)、▼ライトヘビー級 伊藤信夫(明大OB)、▼ヘビー級 関二郎(中大)

◇関東学生春季新人戦(5月28~29日、東京・青山レスリング会館)

《優勝者》▼フライ級 岡田七郎(専大)、▼バンタム級 風間貞勝(中大)、▼フェザー級 味方正宏(明大)、▼ライト級 石渡(中大)、▼ウェルター級 佐藤(中大)、▼ミドル級 関二郎(中大)

◇関東学生リーグ戦(6月13日~7月4日、東京・青山レスリング会館)

《順位》[1] 明大(2年連続10回目)、[2] 慶大、[3] 中大、[4] 立大、[5] 早大

◇関西学生春季リーグ戦(6月2日、大阪府立体育会館)

《順位》[1] 関学大(2季連続11回目)、[2] 関大、[3] 同志社大

◇インターハイ(7月31日~8月1日、群馬・館林市)

《学校対抗戦》[1] 群馬・館林、[2] 新潟・新潟商、[3] 北海道・名寄

《個人戦優勝者》▼50kg級 塩谷淑夫(新潟・新潟商)、▼54kg級 風間貞勝(新潟・新潟商)、▼58kg級 八木原正敏(群馬・館林)、▼62kg級 伊藤勉(群馬・館林)、▼67kg級 小林幸男(新潟・北越商)

◇国民体育大会(8月22~26日、北海道・旭川市)

《一般優勝者》▼フライ級 飯田和夫(新潟)、▼バンタム級 諸戸祝生(愛知)、▼フェザー級 笹原正三(山形)、▼ライト級 川野茂(千葉)、▼ウェルター級 霜島武雄(新潟)、▼ミドル級=出場なし

《高校優勝者》▼50kg級 武田勝晴(新潟)、▼54kg級 風間貞勝(新潟)、▼58kg級 佐々木恭一(栃木)、▼62kg級 伊藤勉(群馬)、▼67kg級 小林幸男(新潟)

◇全日本学生選手権（9月11～12日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 楓尚代志（明大）、▼バンタム級 飯塚實（明大）、▼フェザー級 本橋元一（中大）、▼ライト級 笠原茂（明大）、▼ウエルター級 兼子隆（中大）、▼ミドル級 桂本和夫（中大）

◇西日本学生秋季リーグ戦（9月19・20・26日、大阪YMCA）

《順位》[1] 関大（3季ぶり5度目）、[2] 関学大、[3] 同志社大、[4] 近大、[5] 八幡大

◇東日本学生王座決定戦（11月1～3日、東京・青山レスリング会館）=決勝

明大○ [8-1] ●慶大

※明大は2年連続2度目の優勝

◇関東学生秋季新人戦（11月13～14日、東京・青山レスリング会館）

《優勝者》▼フライ級 今井清吉（慶大）、▼バンタム級 寺田忠司（明大）、▼フェザー級 阿部一男（明大）、▼ライト級 味方正宏（明大）、▼ウエルター級 中村（法大）、▼ミドル級 木村（明大）

◇全日本選手権（11月20～21・23日、東京・東京体育館）

《優勝者》▼フライ級 岩井善瞭（中大）、▼バンタム級 飯塚実（明大）、▼フェザー級 笹原正三（中大）、▼ライト級 笠原茂（明大）、▼ウエルター級 兼子隆（中大）、▼ミドル級 池田三男（中大）、▼ライトヘビー級 桂本和夫（中大）、▼ヘビー級 関二郎（中大）

◇全日本学生王座決定戦（不明）

明大○ [?] ●関大

※明大は2年連続2度目の優勝